

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 030	提案機関名 農業技術センター北相地区事務所
要望問題名 ブルーベリーの立ち枯れ(紋羽病)の対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 相模原果樹組合では、ブルーベリーを15名が栽培し、主力果樹となっている。しかし、ブルーベリーの栽培が始まり、15年以上が経過したことから、樹齢が進み、立ち枯れが多く見られるようになった。立ち枯れの原因の一つは紋羽病によることが現地で確認されている。そこで、立ち枯れ病の原因の究明と紋羽病の対策として温水治療及び薬剤の土壌灌注の効果について検討して頂きたい。	
解決希望年限	① <input type="checkbox"/> 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	① <input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	北相地区事務所	担当部所	研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 1 地産地消を推進する安定生産技術の確立 (10)北相地域特産品の高品質安定生産技術の開発		
対応の内容等	現地を視察したところ、紋羽病及び枝枯れ病の症状と、虫害が見られました。 紋羽病対策として、温湯処理に対するブルーベリーの耐性を所内試験により確認します。登録薬剤、薬剤の効果についても現地調査により検討します。また、枝枯れ病の症状を呈する枯死については原因解明を行い、対策を検討します。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			